



大畑 洋介 Yosuke Ohata

メディカルサロンいやさか院長

大学卒業後、鍼灸師、柔道整復師資格を取得
自身のアトピー克服の経験から西洋医学だけでなく、
東洋医学をはじめ様々な分野の知識・治療技術に精通
腰痛・肩こりから、がん、糖尿病、パーキンソンなど
様々な症状の方が来院している

アトピー、ストレスとの闘い

—— 今回は大阪府堺市の「メディカルサロンいやさか」院長、大畑先生にお越しいただきました。よろしくお願いします。

大畑先生(以下:大畑)よろしくお願いします。

—— 現在整体師としてご活躍されていますが、この業界に入るきっかけは何だったのですか？

大畑:実は大学の時に通っていた接骨院の院長にナンパされました(笑)

—— それは珍しいですね(笑)最初は患者さんだったのですか。

大畑:はい。学生時代はサッカーをやっていたのですがケガをしてしまいました。大学3年の時に通っていた接骨院の院長から「就職どうすんの?」と。「どうしようか決めてないんですよ。」と言ったら「ウチで働いてみれば」という流れで。大学4年の時に授業と接骨院での修行の掛け持ち生活を始めました。

—— すごすご縁ですね。大学を卒業されてから国家資格を取られたのですか。

大畑:そうですね。大学は普通に4年で卒業して、その後鍼灸師の学校に3年、柔道整復師の学校に3年通いました。

鍼灸師と柔道整復師2つの国家資格お持ちということですが、学校に通いながら、その接骨院で働いていたのですか？

大畑:この業界あるあるなのですが、朝治療院で仕事、昼は学校に通い、夜また仕事、というパターンですね。

—— ハードな生活ですね。

大畑:生活もハードですが、色々と治療業界に疑問を持つようになってしまいました。そっちも辛かったですね。「なんかやってること違うの?」「これは本当に患者さんのためになってるの?」「ちゃんと通ってくれる人ほど状態が悪いな」とか。保険請求の制度にも疑問がありましたし。

—— なるほど。心がモヤモヤしたまま仕事をするのはとても辛いですね。

大畑:僕は昔からアトピー持ちだったのですが、ストレスで仕事ができないくらいアトピーがバーッと出てきてしまいました。働いて4-5年目ですね。手の状態がひどくて仕事できないんですよ。

—— 手を使う仕事ですから、それは難しい状況ですね。

大畑:それで3か月ぐらい完全に仕事を休んで少し良くなったのですが、復帰1日目でまたアトピーがひどくなって。さすがに続けられないということで、機械を中心に使う治療院にうつり、だいぶマシにはなりました。その後、機械に頼らずとも治療したいということで色々な手技を学ぶんですけど。

—— 今ではアトピーは大丈夫なのでしょうか。

大畑:はい。アトピーで苦しんでいる僕を救ってくれたのが安保徹先生(※1)の本でした。

—— おお、安保先生ですか。

大畑:安保先生のおかげで温熱など色々なことを学びましたし、自分の考えも変わりました。

※1 安保徹(あぼとおる)新潟大学大学院医歯学総合研究所名誉教授。『体温免疫力-安保徹の新理論!』『病気をよせつけない生き方』など著書多数。

9割は自分で治せる

—— 大畑先生は普段どんな施術をされるのでしょうか？

大畑:物理的な施術としては「触れる」「揺らす」がメインです。ポキポキ系ではないですね。かなりソフトに歪みをとっていきます。数ある技術の中から患者さんの状況に合わせて施術するスタイルです。

—— よく世間では「気持ちいいけど良くならない」「その時は楽になってもすぐ痛みが戻ってしまう」という患者さんもいらっしゃいますが。

大畑:そうですね。本来は整体に通わなくても良いカラダになることが理想ですよ。なので当院では患者さんが「卒業」することを目標としています。

—— 卒業ですか。

大畑:はい。もちろん人によっては1回の施術で十分良くなる方もいれば何か月もかかってしまう方もいます。しかしどちらにしろ歪みが取れて、自然治癒力が働いて、整体や薬がいらぬカラダ作りをしていこうということです。言葉巧みにリピートを強制するようなことはしません。

—— 確かに、整体や薬が要らないカラダが理想ですよ。

大畑:正直、9割は自分で治せるんですよ。

—— 大畑先生自身の体験からそう思われますか。

大畑:先ほど僕はアトピーが酷かったという話をしましたが、本当にステロイドをハンドクリームのように使っていたんですよ。それが安保先生の本に出会い、温熱や免疫のことについて学んでから変わっていきました。どんどんアトピーが良くなっていったんです。国家資格持っているくせに、自然治癒力のことはほとんど知りませんでした。

—— 意外と知られていないものなんですね。

善本:そうですね。体温が下がると免疫力が下がる、がんは熱に弱いとか基本的なことでも意外と知らない人は多いです。それに「ちゃんと湯船に入ろう」「冷やさないように気を付けよう」なんて誰でもできますし、医師や整体師にやってもらうまでもありません。でもそういうことこそ大事なんです。

—— 大畑先生の目指す、患者さんの「卒業」にも関わってきそうです。
食事や生活習慣のアドバイスもされているのですか？

大畑: 一般論としてお伝えすることはありますが、強制はしたくありません。例えば食べもの1つとっても個人差があります。砂糖がダメ、小麦粉がダメ、肉がダメなど聞いたことがあるかもしれませんが、偏り過ぎるのも不健康になったりします。

—— 牛乳も論争がありますね。

大畑: 僕は小さいころ毎朝牛乳を飲んでいて、毎日下痢をしていました(笑)過敏性腸症候群だったのですが、牛乳はカラダに良いと思い込んでいましたからね。あ、牛乳が全て悪いというわけではなく僕には合わないのに続けてしまったという話です。

—— 「悪い」ではなく「合わない」という表現が腑に落ちる気がします。

大畑: あまり何かを排除し過ぎると、逆にストレスで不調になってしまいますしね。

「ウチが1番」だと思いき過ぎるのは良くない

—— 大畑先生は温熱療法協会の「温熱免疫アッププログラム」でも採用中の遠赤外線機器「日だまり(株)MOZU社の製品)」なども使用していただいています。どんなところが良いと思われたのでしょうか？

大畑: まず、菱田社長のお話に共感できたというのが大きいです。「ウチの製品はカラダを温めて血液を流すのは得意です」「他の部分はお任せします」と仰っていて。なかなかこういうこと言える人はいないです。みんな「うちの製品が1番!」「うちの製品だけで治る!」と言いますからね(笑)

—— なるほど(笑)MOZU社や当協会では日ごろから「温熱は野菜」と言っています。時には主役にもなれるけど、他との組み合わせでは引き立て役にもなれるよと。

大畑: 大事だと思います。「これしかない!」と思込むと視野が狭くなります。もちろん1つのことに拘る素晴らしさもあります。

—— 排他的になってしまわないように気を付けます。

大畑: あまり大きな声では言えませんが、医療、治療院業界は排他的な方も多いです。1人の大先生を取り巻きが囲んでいるような感じです。で、他の流派や会社の悪口ばかり言うんです。

—— なるほど。私も全体の業界にいたのでわかります。自分のところ以外は認めないという風潮がある気がします。

大畑: 患者さんにとって何が1番いいのかという視点が抜けています。ゴールが健康なのであれば、施術でもいいし食事でも温熱でも何でもいいわけです。「俺が治してやった」と思いたい欲が強すぎます。

—— それはあるかもしれません。しかし「自分のおかげで治った」と思ってもらいたいですよね(笑)

大畑: もちろん承認欲求をゼロにしろということではありません(笑)健康への道はたくさんあるのに、他の方法や色々な可能性を最初から潰すことはない、ということです。

—— そういうスタンスの先生は貴重ですね。本日は為になるお話をありがとうございました。

大畑: ありがとうございました。

編集後記

—— 大畑先生には今回掲載したもの以外にもたくさんの情報をいただきました。しかし内容が濃密過ぎて泣く泣くカットした部分が多々あります。健康に関する様々な知見をお持ちで、患者さんを「卒業」に導くことができる数少ない施術者だと感じました。「大畑先生に施術をしてもらいたい！」という方はメディカルサロンいやさかにお問い合わせください。

MS IYASAKA
Medical Salon Iyasaka



日だまり（コンセント式）BB-180G
サイズ:32×68×36cm / 消費電力:180w / 重さ:2.9kg
価格:250,000円(税抜)

■こんな方にオススメ!



遠赤王シリーズの中で、圧倒的な遠赤外線放射量を誇るドームタイプの遠赤外線温熱機器。本格的な冷え性対策・睡眠改善・体質改善・がんの再発予防などを考えている方におすすめです。